

	号外 昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	定価1部2円	衆議院選挙スタート。県職労は比例区で「社民党」を推薦決定。政治を市民に取り戻すために支持拡大を！
		発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合	

県政推進のため人材確保策が急務

社民党・小西和子県議 10.4一般質問に登壇・改善を訴える！

現在、9月定例県議会が開会されている。県議会でも人員不足の課題や長時間労働の是正などを巡って、10月4日、県職労推薦・小西和子県議（社民党）が議会に課題を投じた。

県職労では、組合員の生活・職場実態の改善を求めるべく、各推薦議員と定期的に意見交換しており、その内容を踏まえ、当局に改善を促すべく、一般質問で取り上げた。

主な質疑・答弁の概要は下表のとおり。



演壇から訴える社民党・小西県議

項目	質問事項	当局答弁（答弁は要約しています）
・災害を想定した人員確保 ・欠員解消策	・今後の災害発生を想定しつつ、 <u>業務を円滑に遂行できる人員体制の確保を。</u> ・喫緊課題の <u>欠員解消策は。</u>	（知事）重要課題に財源・人的資源を配分し、成果を挙げる視点も必要。新採用の拡大、他県応援職員の確保、任期付職員の採用等で震災前から知事部局で400人程度増員した。 （総務部長）採用試験受験者の確保強化に努めている。欠員数は特別募集により、 <u>8月時点で102人と一定数の解消はしている。</u> <u>引き続き欠員解消に努める。</u>
専門職種の処遇改善	・獣医師等の <u>専門職員の処遇改善策は。</u>	（総務部長）獣医師確保は重要な課題。これまで処遇面の改善、修学資金の貸付、獣医師のPRなどを行った。 <u>所管分局と連携して専門職確保に取り組む。</u>
ワークライフバランスの推進	・育児休業、介護休暇等を取得しやすい環境に向け、 <u>知事のリーダーシップにより推進を。</u>	（知事）子育てと仕事の両立支援に係る管理職員の役割をまとめたパンフレットを各所属長に配付。育児休業や介護休暇を取得しやすい職場環境の整備等に努めた。 <u>超過勤務の縮減、育児休業、介護休暇などを取得しやすい環境づくりに努め、職員の健康保持、仕事と生活の両立に向け取り組む。</u>

これらの答弁は現状認識や基本姿勢を示したにとどまり、具体策が言及されず極めて不十分だ。これらは確定闘争の重要課題であり、欠員の早期解消や獣医師の処遇改善等を含め、確定闘争において具体策を当局に追及し、職場改善に全力で取り組んでいく。

憲法を守り、暮らし・地方自治の発展には

比例区「社民党」が一番！

衆議院選挙に向け県職労が「推薦」・支持拡大を

9月28日の安倍首相による衆議院解散を受け、10月10日公示・22日投開票で総選挙が行われている。

安倍首相は、「アベノミクスの完成」、「消費税の使途変更（子育て支援等に配分）」、「憲法9条に自衛隊を加える」を公約としている。アベノミクスによって大企業への内部留保は400兆を超える一方で、労働者の実質賃金は低迷したままだ。さらに、子育て支援充実の財源確保は、年5兆円を超える防衛費の削減、大企業への課税強化で可能であり矛盾だらけの政策に過ぎない。さらに憲法9条に自衛隊を明記すれば、戦争法に基づく集団的自衛権のもと戦争の懸念が一層高まる。安倍自公政権をはじめ改憲勢力を3分の2未満に追い込む重要な選挙となる。



衆院選で生活者に政治を取り戻そう

県職労は、平和憲法を守り、生活者の視点に立った政治を取り戻すこと、政府による地方自治体への財政削減や合理化に反対し、真の地方自治をめざす政策を掲げる、「社民党」を比例区で推薦決定した。

社民党は、地方公務員の処遇改善に特に精力的だ。本年5月成立の臨時非常勤職員の処遇改善を柱とする改正地方公務員法の成立に当たって、又市征治幹事長が「臨時非常勤職員の処遇改善は当然だが、常勤職員を基本とする公務運営の原則堅持を。現に雇用されている職員の処遇引下げ、雇止めが生じないように」と訴え、政府側から「常勤職員による公務運営は原則。勤務条件などの確保に伴う財政上の制約を理由とした抑制、いわゆる雇止めや処遇引下げは法の趣旨に沿わない」との答弁を引き出した。

私たち地方公務員の処遇改善に一番熱心なのは「社民党」。平和で安心した暮らしの実現のため「社民党」への支持をお願いします。

選挙区「反自民」候補を「支援」

選挙区は、「反自公政権」を基本とし、次の方を「支援」します。1区・2区は「希望の党」から立候補しますが、連合岩手との間で「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けた政策協定を締結し、立憲主義や憲法の三大原則（平和主義、国民主権、基本的人権）を貫く政治を求めています。3区は野党共闘の枠組みを継続します。

岩手1区：階 猛（現職・希望の党）

岩手2区：畑 こうじ（前職・希望の党）

岩手3区：小沢 一郎（現職・無所属（自由党籍））

棄権は現政権への白紙委任！

投票に行こう！

投票日に投票できない人は…

「期日前投票」を！

期日前投票は選管が定める投票所で毎日投票が可能！投票は投票所にある宣誓書を書き（印鑑不要）、選挙区は「候補者名」を、比例代表は「政党名」書いて投票します。棄権は“危険”です。選挙期日に仕事や旅行など予定がある人は『期日前投票』で一票を投じよう！

